

本のご紹介

救命救急医が描く臓器移植の今  
移植医療小説『ドナーズ・ハイ』発刊



紹介者 新潟県臓器移植コーディネーター 秋山政人

丸山正則/著 新潟日報事業社/発行  
四六判・262ページ・定価1,260円(税込)

一昨年、丸山正則先生の前任地での出来事である。院内の移植医療システム構築のため、頻回に打ち合わせに病院を訪れていたとある時、「俺！移植医療を題材に本を書いてみようと思うんだ」と言ったのが鮮明に思い出される。特に救急医や病院スタッフの心情と、消えゆかんとしている患者の命、それを支え見守る家族を自身の体験を基に書きたいと言っていた。

それから数カ月後、私のメールに100ページに及ぶ文書が送られてきた。題名は『ドナーズ・ハイ』である。物語の舞台こそ違えど、幾度となく丸山先生とご一緒した、臓器提供の臨床で覚えのあることが随所に織り込まれ、変わりゆく家族の姿に目頭が熱くなる場面もしばしばあった。

移植医療とは、患者家族が納得のいく治療があり、さらに危篤を理解する家族がいて、はじめて行える医療である。そのプロセスが本書で展開される。それが救急における、終末期医療の本来的な姿のかもしれない。併せて移植医療のバイブル本として、広く読まれることを期待する。

新潟日報事業社のホームページからもお買い求めいただけます。「ドナーズ・ハイ」で検索してください。

上越の救命救急医丸山さん  
臓器提供の過程克明に  
小説「ドナーズ・ハイ」出版  
移植医療をテーマにした小説「ドナーズ・ハイ」

丸山正則プロフィール

昭和18年 新潟市生まれ。5歳のころ、父の開業で長岡市に転居  
昭和36年 新潟県立長岡高等学校を経て、新潟大学医学部に入學  
昭和42年 新潟大学医学部卒業  
昭和47年 新潟大学大学院博士過程終了卒、医学博士授与される  
昭和54年 新潟大学文部教官講師を経て、新潟市民病院麻酔科部長に兼任  
昭和62年 新潟市民病院救命救急センター発足  
平成5年 新潟県立中央病院に麻酔科部長に兼任  
平成9年 新潟県立中央病院救命救急センター長  
平成13年 県立中央病院副院長  
平成15年 新潟県MC協議会会長に就任  
平成18年 総務省消防庁長官功労賞受賞  
平成20年 県立中央病院を定年退職するが、非常勤医として継続勤務  
平成22年 新潟県立中央病院救命救急センター長退職し、新潟県厚生連上越総合病院救急科部長に兼任  
救急医療功労者の厚生労働大臣表彰を授与される

<専門>  
日本救急医学会専門医

県内の臓器提供および移植の状況

(1) 献腎提供者・献腎移植者・献腎移植待機者の状況

Table with 15 columns (Year, H9, H10, H11, H12, H13, H14, H15, H16, H17, H18, H19, H20, H21, Total) and 4 rows (National, Niigata, National, Niigata) for kidney donors/recipients.

(2) 献眼登録者・献眼者・移植者・待機者の状況

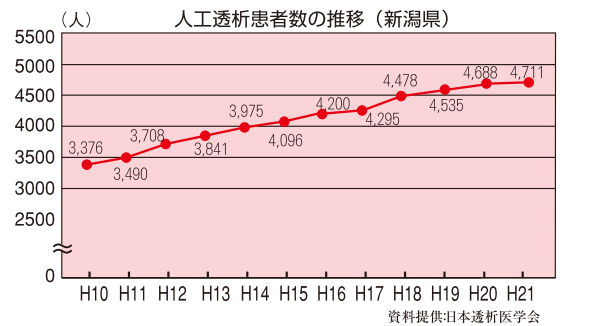
Table with 15 columns (Year, H9, H10, H11, H12, H13, H14, H15, H16, H17, H18, H19, H20, H21, Total) and 4 rows (National, Niigata, National, Niigata) for eye donors/recipients.

(3) 臓器移植コーディネーターの活動状況 (平成21年度)

Table with columns (Date, Facility, Kidney, Eye, Transplant Status) listing activities from H21.4.8 to H22.3.26.

(4) 人工透析患者の状況

腎不全のため人工透析を行っている患者さんは年々増加しています。(下図)  
腎不全の唯一の根本治療法は腎移植であり、多くの患者さんがこれを待ち望んでいます。

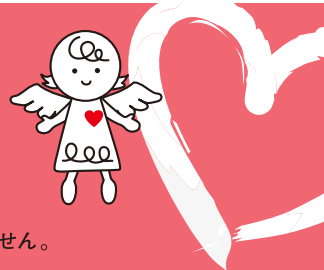


あなたの学校に講師を派遣します  
命Relay for you 学習会

移植医療の現状を知り、命の尊さについて一緒に考えてみませんか？  
教科や行事などにご活用ください。＊講師料・旅費など、学校側の費用負担はありません。

<平成21年度実施校>  
国際メディカル専門学校、立川総合病院付属看護学校、新潟県厚生連佐渡看護専門学校、上越市立頸城中学校、川口町立川口中学校、新潟情報ビジネス専門学校、新潟市立坂井輪中学校

<事業の効果>  
中学校、高等学校、看護専門学校および県コーディネーターが非常勤講師を務める大学などで授業をし、各年代における移植医療の知識・意義について十分に伝達できたと評価しています。



- 派遣講師 新潟県臓器移植コーディネーター 秋山政人  
県内全域で臓器移植に関する知識の普及啓発を行い、臓器提供の情報があれば24時間体制で現場に駆け付ける経験豊かなコーディネーターです。
- 派遣元 (財)新潟県臓器移植推進財団
- 後援 新潟県、新潟県教育委員会、新潟県医師会

お申し込み・お問い合わせは当財団までお願いします。

財団の活動・運営にご協力ください  
【賛助会員加入のお願い】  
財団の活動は基本財産の運営益と善意の賛助会費、および寄付金で行っています。賛助会のご加入、ご継続をよろしくお願いいたします。  
★賛助会員(年会費)  
法人 10,000円  
個人 1,000円  
【財団法人新潟県臓器移植推進財団理事名簿】  
【財団法人新潟県臓器移植推進財団評議員名簿】